

## 凡 例（建物全半壊率）

総戸数のうち全壊、半壊となる建物の割合



伯耆町洪水ハザードマップに掲載の避難所

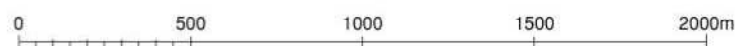


土砂災害警戒区域（急傾斜）



土砂災害警戒区域（土石流）

1 : 22,000

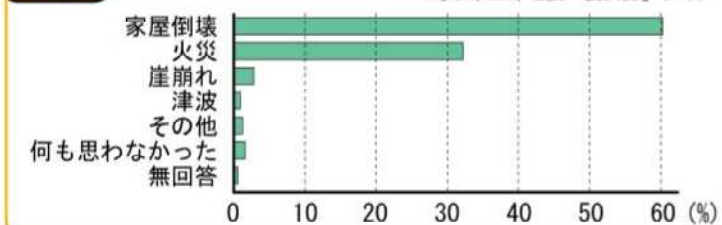


## 揺れによる 建物被害マップ④

### 地震豆知識

地震が発生した時に、  
最も危険と感じたことは何ですか？

（鳥取県西部地震「震災誌」より）



### 地震豆知識

地震被害で死亡者の多くは  
家屋の倒壊等による圧死です！

阪神・淡路大震災では約26万棟の家屋が全壊・半壊し、約6,400人をこえる方が犠牲となりました。そのうち住宅が倒壊し、その下敷きにより亡くなった方が死亡者の全体の約8割を占めました。住宅の耐震化は地震から生命を守るために大変有効なのです。

●阪神・淡路大震災での死亡原因



倒壊した木造住宅の多くは昭和56年  
以前に建築されたものです！

昭和56年6月の建築基準法改正（耐震基準の強化）以前に建築された住宅は、改正後に建築された住宅に比べ耐震性が低いことが倒壊の原因です。（なお、平成12年の改正では、接合金物の設置などが義務化されました。）

●阪神・淡路大震災における木造住宅（従来工法）の倒壊率



出典：阪神・淡路大震災調査報告編集委員会「阪神・淡路大震災調査報告書 総集編」（2000年）、厚生省大臣官房統計情報部「人口動態統計からみた阪神・淡路大震災による死亡の状況」（1995）より